

卒業生の皆さんへ ～ 校長からの正門横掲示板 メッセージ ～

今、やりたいことがあるのなら、精一杯そのことにチャレンジしよう！  
もし、やりたいことがないのなら、目の前にあることに精一杯取り組もう！



### 言葉を大切に

おはよう  
ありがとう  
ごめんなさい  
大切にしたい言葉

当たり前  
何気なく使っている言葉は使い次第だ  
人を励まし勇気づけることも  
人を傷つけ落ち込ませることも出来る



### 笑顔を大切に

この笑顔 その視線 あのため息  
言葉以外の伝える術は意外に多い

爽やかな挨拶は笑顔と呼ぶ  
笑顔ある生活は幸せを招く

誰かをほめるのは本当に難しいなあ  
自分のことはみんな棚に上げて  
誰かのアカンところ すぐに見つける自分  
自分もほめて欲しいのに

素敵な笑顔を増やしたいから  
ドッジボールではなく  
キャッチボールをしよう

### 自分事を大切に

自分事の想像力と  
一步前の行動力を培おう

一人は皆のために 皆は一人のために  
この言葉の起点は 他の誰かではなく  
自分自身です

みんなちがってみんないい  
そんな社会をみんなで作るのは  
自分自身だ

主体性を身につける術を  
自問することが  
主体的である大切な、最初の一步



卒業おめでとう

卒業生の皆さんのご活躍とご多幸を祈念します

令和5年3月1日

奈良県立高取国際高等学校長 渡部 憲一

\*\*\* 校長室だよりからの抜粋 \*\*\*

常々伝えているように、今私たちにできることは、「正確な情報を手に入れ、いろいろな意見を吟味して、自分自身で考え判断し、その判断をもとに自ら行動すること」です。歴史から学び、私たちの日々を丁寧に生きることが、何より大切に思えます。移動手段や情報機器の発達によって世界が小さくなった現代では、私たち一人一人の行動が今まで以上に世界を動かしようと、私は信じています。だからこそ、他人事ではなく自分事として世界を捉えることを心がけたいと思います。(4月)

もう一つ。苦勞して身につけた(手に入れた)ものは、例え周囲からは無価値に思われるものでも、自分にとっては唯一無二の宝物になると思う。逆に、いかに高価なものでも容易に手に入ったものは、気付けばどこかへ消えていることが多い。

宝物を増やしたいから、ラクしたい気持ちを上手くやりくりして時を重ねたい。(5月)

人間は間違いや愚かな行動をすることもあるけれど、心動かす素晴らしい行いもする。きっと、私たち一人一人の思いや声が伝わり、愚行を繰り返さない英知を生み出し、明るい未来が訪れるようにできるのも、人間だと信じたい。(6月)

「自分がやられて嫌なことは人にしてはいけない」(の逆、嬉しいことはしてあげよう)とても当たり前なのに思えるがどうだろう。最近、この行動規範が揺らいでいるのではないか。特に、「リアル」ではない、SNSやオンラインでのつながりが増え、コロナ禍によるマスク着用で表情が分かりづらくなってから、余計にそう感じる。自分がされて嫌なことは何か、そして、相手の嫌なことって何だろうと思いを馳せることは忘れたくない。(8月)

これからは予測がより困難な時代になると言われていますが、昔も今も、きっと変わらないことがあります。それは、今の延長線上にしか未来はありえないということ。過去・現在・未来が一直線上にある「時間」はタイムマシンでもない限り、一方通行です。だからこそ、心震える感動も地団駄踏むほどの後悔も、人は経験するのではないのでしょうか。(9月)

自分の投げたものが相手にどう届くかを見定め、楽しくキャッチボールをしたいと思う。二色だけに留まらない、多彩な色に溢れている世界を歩みたい。(10月)

どれだけ正しいことを言っても間が悪いと伝わりませんし、全く逆(ひどいことを言われているよう)に響くことも多々あります。だから、トンチンカンな話をして、タイミングが合えば、ありがたい教訓となるようなこともきっとあるでしょう。内容が大切なのは言うまでもありませんが、「間」を意識することで相手に伝えたいことが届くか否かが結構あるのではないのでしょうか。それでも、まちがったりマヌケなことをしてかしたりするのは人の常。私たちは何度も失敗しては詫びることを繰り返しながらも、我慢が必要な時を見失わないようにしたいと願っています。(11月)

私が幸せを感じるのは、おいしい物を食べているときや気の合う友達とたわいもない話して盛り上がっているときだ。決してそれらは目標などではない。「ああ、幸せやなあ」と知らぬ間に口から出るのは、今その時が幸せな心持ちで「いる」からだろう。だから、「なる」ではなく「いる」あるいは「ある」が、幸せという言葉とは親和性が強いと思う。とすると、遠くどこかにある幸せに「なる」よりも日々幸せで「ある」ためには、やはり日々を大切に過ごしていくことが何より大切だろうと、改めて思う。(12月)

生徒の皆さんにお願いです。

どうか、一方通行の「今」を大切に紡いでください。私も、是非そうしたいと思います。

いろんな事が毎日身の回りに起こりますが、自身が立つ足下を疎かにせず、少しずつでも歩みを進めれば、積み重ねた日々は大切な何かを自身に与えてくれると信じています。(2月)

